

(8) 人物像表現

A 主に小中学生

B 「こどものための三岸好太郎展」会期中（平成 29 年 7 月 1 日～8 月 27 日）

C 264 名

D 展覧会会場における締めくくりに設定。ここまでのプログラムを通して、こどもたちが自分なりに思い描いたパパミギシの人物像を、娘の陽子に教えてあげるつもりで記述し掲示するための仕掛けとして開発した。

表現方法は、ハート形の台紙にパパミギシのスタンプを押すとともに、三岸好太郎の人物像を記入してボードに貼るものとした。ボードの付近には、三岸好太郎の妻で陽子の母である画家・三岸節子のイラストパネルや、三岸好太郎の家族写真、三岸好太郎が幼い 3 人のこどもたちに宛てた手紙のパネルなど、作品だけでは伝わりにくい父としての人間性を想像するための補助となる素材を掲示した。



会場の様子



人物像表現